

芦北町議会だより



うたせ

第23号

平成22年10月28日発行

発行／熊本県芦北町議会 編集／議会広報特別委員会 TEL(0966) 82-2511・FAX(0966) 82-2894



- 9月定例会… P2～3
- 一般質問… P4～7
- 総務常任委員長報告 P8～9
- 建設経済常任委員長報告 P10～11
- 文教厚生常任委員長報告 P12～13
- 議会のうごき・編集後記… P14

合併5周年記念
芦北町民体育祭
(10月10日 総合グランド)

9月定例議会



9月定例議会は、9月1日に招集され、15日までの15日間の会期で開催した。

上程された議案は、

平成22年度一般会計補正予算ほか、特別会計

補正予算4件、条例の一部改正1件、町道の路線認定2件、報告2件で、いずれも慎重審議の結果、原案通り可決した。

平成21年度一般会計、特別会計水道事業会計の決算について、各常任委員会に付託され、集中審査の結果、認定することに決定した。

また、陳情2件について、採択とし、人権擁護委員の推薦につき、意見を求める諮問1件について、原案通り答申することに決定した。

一般質問には、4議員が登壇し、執行部の考え方をただした。

主な質疑

質 老人ホームのスプリンクラーが460万円あるが、これは既存で付けていたのか、新規なのか。

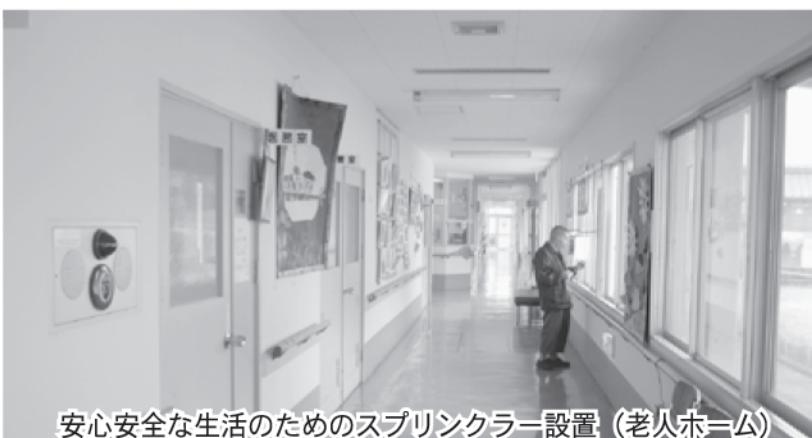
答 予算作成時点では、簡易型のスプリンクラー水道管直結型としていた。しかし、実施設計時点では、水道管直結型では水圧がないので、消防署等との協議の結果、貯水槽及び自家発電機が必要となり、そのための補正である。

質 耕作放棄地の問題で、この解消緊急対策事業というのは、具体的にどういうものか。

答 これは、耕作地の復元に対する補助で、国の補助金と県の補助金がある。

質 高額医療費で、618万9千円が出ているが、この高額医療費はどういう病気が発生して、そのような補正になつたのか。

答 詳細の詰めは一件一件行つていいが、透析等による患者や、最近の病気の形態が、がん等の手術で経費がかさんだためである。



安心安全な生活のためのスプリンクラー設置（老人ホーム）

質 この件については、消防団長及び幹部とも協議をしながら進めてきたものであり、今後運用する中で、良い方向を目指していく。

平成21年度 決算総額 161億7,346万円を認定

歳入では、地方交付税が対前年比 2.3%の106,861,000円の増、諸収入が 55.6%の68,668,630円の増額となっており、町税は 7.9%の127,526,347円の減。町債は 38.4%の433,657,000円の減となり年々減少傾向にある。

今後、国の地方分権にかかる政策を見守る必要があるが、町財政の弾力化を維持するためにも、自主財源の確保に努め、併せて計画的、且つ効果的な事業の推進を図ることにより健全財政の体制強化を望む。（決算審査意見書より抜粋）

年度別財政指標の推移及び実施 収支の状況並びに標準財政規模 (単位: %・千円)

年度 項目	19年度	20年度	21年度	標準値
経常収支比 率	93.2	90.9	89.9	75%以下
財政力 指 数	0.33	0.30	0.30	1に近く 1を超える程良い
実質公債費 比率	9.8	9.2	8.0	18%以下
公債費負 担 比率	17.8	17.9	15.9	15%警告 20%危険 ライン
実質収支比 率	5.7	5.0	4.5	3%～ 5%程度

一般会計・特別会計歳入歳出決算の総括

()書きはH20→H21継続費・繰越額限度額

(単位: 円)

会計名	歳入歳出予算額	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	(479,287,284) 12,527,124,284	(476,682,461) 10,797,910,761	(454,853,857) 10,377,364,925
国民健康保険(事)	3,321,912,000	3,476,096,289	3,195,484,853
国民健康保険(直)	53,230,000	52,383,715	52,383,715
老人保健事業	21,187,000	18,208,060	18,208,060
介護保険事業	1,864,951,000	1,960,303,821	1,820,702,307
簡易水道事業	76,600,000	80,682,937	69,000,266
農業集落排水事業	228,701,000	220,428,054	220,428,054
生活排水処理事業	61,100,000	56,383,060	56,383,060
町有温泉事業	115,248,000	110,249,893	110,249,893
奨学資金貸付事業	24,800,000	27,666,428	23,780,000
後期高齢者医療事業	243,936,000	230,151,950	229,478,750
合 計	(479,287,284) 18,538,789,284	(476,682,461) 17,030,464,968	(454,853,857) 16,173,463,883

平成22年度 補正予算を可決

補正額は一般会計・各特別会計をあわせて **1億1,431万円**

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	4,730万円増	96億5,827万円
国民健康保険特別会計	6,010万円増	33億2,434万円
農業集落排水事業特別会計	210万円増	2億1,379万円
老人保健事業特別会計	286万円増	316万円
介護保険事業特別会計	195万円増	18億8,125万円

◎補正予算のおもな内容（一般会計）

- 企業等農業参入支援事業補助金 300万円
- 有害鳥獣被害防止等対策事業補助金 115万円
- 魚介類放流事業補助金 99万円
- 牛の水漁港浮桟橋設置工事 546万円
- 公共土木施設災害復旧工事 900万円



人
事

西村文美氏
(小田浦地区)
平成10年11月から人権
擁護委員として委嘱され、
現在4期目。

人
権
擁
護
委
員
の
推
薦

一般質問

道徳教育の充実への取組みについて!!



川尻議員



質

「心のノート」によるこれまでの道徳教育の

教育委員会として、方向性を協議していないが、心のノートの授業については、今後何らかの方策がとられるべきである。希望を募るということになれば、積極的に希望しように対応していく。

答
教育委員長

が、平成23年度から希望校での使用に変わることである。このことを町教育委員会としてどう受け止めているのか。

毎年、年度初めに、学校教育目標を掲げている。今年度の道徳教育に関する特徴は、特に生の尊重の確立、郷土愛、公共心の向上、学校と地域社会の連携促進などの項目を取り組んでいる。

質

今後、道徳教育の充実

にどう取り組むのか。

答
教育委員長

心のノートは一つの教材であり、心のノートのみの効果はどうであつたかという検証はできないと考えている。しかし、道徳教育全体の成果としては、問題行動が少なくなったり、重大ないじめ事案等を現在のところ報告を受けないことが多いことなど、好ましい状況が多々見受けられる。

答
教育委員長

成果を検証してきているのか。



民生・児童委員協議会啓発活動

質

福祉課長

現在まで順調に進んでい

る。委員の方々の生活や精神的負担が増大しないように、早い段階で町への情報提供や相談案件の引継ぎをされるよう促し、負担軽減を図っています。

質

福祉課長

その具体的な成果をどう捉えているのか。

質

福祉課長

各委員の活動は、記録されており、町でも確認している。平成21年度は、相談・支援件数が全体で3719件、活動日数が全体で7556日となつていて

質

福祉課長

ひとり暮らしの高齢者や生活保護、母子家庭等、年々増加して社会福祉活動における民生委員、児童委員の役割が更に重視されている。本町における民生委員、児童委員の活動の実態をどう把握して助言、指導等行っているのか。

民生委員・児童委員の役割、活動状況とその成果について

一般質問

生活道路の拡幅・整備及び防災対策について!!



坂本議員

①県道越小場湯浦線の道路拡幅。
②黒岩上原線の道路整備、落石防止対策。
③海上原線の道路整備、落石防止対策。
④内木場の道路整備、拡幅、災害防止対策はどうなつているのか。

答 町長

道路整備については、芦北町総合計画に沿って、町道532路線の管理及び整備を行うとともに、県道11路線についても必要な改良整備の要望を毎年続けている。

①県道越小場湯浦線の拡幅は21年度に県に要望したが、3箇所の局部改良工事が施工された。今後とも要望をつづけていく。
②22年度に側溝側工事12mが完了した。今後、ガードレール150mを施行予定。
③22年度に舗装270m、落石防護柵150mを施行予定。
④22年度側溝工事98m施工済み、今後道路縦断勾配改良50m、落石防護柵60mを施工予定。

答 建設課長

①収納率94・06%、対前年比0・14%の減である。
②国保世帯の内、水俣病医療手帳、保健手帳の保持者数は。また、医療費本人負担の国県の負担はどの程度か。

答 住民生活課長

①この補助事業は、町産材を柱や土台等の構造材として80%以上使用し、町内の工務店等が施工する住宅の新築や増築に対し、2万5千円／坪を助成するものである。

②条例制定せずとも現在、発注段階において地元業者優先のスタンスをとっている。

質 ①県道越小場湯浦線の道路拡幅。
②黒岩上原線の道路整備、落石防止対策。
③海上原線の道路整備、落石防止対策。
④内木場の道路整備、拡幅、災害防止対策はどうなつているのか。

質 ①国保税の収納率はいくらいか。収納率は上がっているのか、さがっているのか。国保の加入者数、世帯数は。医療費、保険料の額は他町村と比較してどうか。

質 ①公表されていないが、受診者数は1948人である。医療費の自己負担金2億8千万円は国、県で負担している。国庫支出金は10億5千万円、国庫補助金が4億5千万円でその内1億8千万円が特別調整交付金として交付されている。

戸、増築は10戸中7戸が制度活用。補助金額は1427万5千円である。

②質問の補助事業は現在考えていない。

質 ①内容はどのようなものか。
②地元産材に限らず耐震、新築、増築工事など補助金を出す制度はできないか。

質 ①芦北町木造住宅建築支援事業補助金交付制度について

質 ①財政危機、長引く不況下、地元建設業への対策は。

質 ①本町においては、公共工事は地元経済を支える主要な施策と位置付け、普通建設事業費で23億を超える予算であり、近隣市町と比較し、かなり高い。また、緊急雇用対策で50名の臨時職員を雇用し、中小企業者に特別小口資金補償制度、地場産業振興対策資金融資制度の斡旋をしている。

質 ①国保税の滞納世帯は。滞納の結果、保険証が発行されない世帯はどのくらいか。また資格証明書しか発行されない世帯はどの程度あるか。

質 ①公表されていないが、受診者数は1948人である。医療費の自己負担金2億8千万円は国、県で負担している。国庫支出金は10億5千万円、国庫補助金が4億5千万円でその内1億8千万円が特別調整交付金として交付され

質 ①20年度で木造新築戸数は1635戸、内この制度の活用が活用。戸、増築は6戸中4戸が活用。21年度は新築31戸中12戸が

芦北町中小建設業振興条例の制定について

①20年度で木造新築戸数は1635戸、内この制度の活用が活用。戸、増築は6戸中4戸が活用。21年度は新築31戸中12戸が

5

一般質問

県民体育祭について!!



古村議員

水俣市・芦北町・津奈木町で県体育準備委員会を設置し、今月の1日に総会において第66回熊本県民体育祭水俣・葦北郡大会実行委員会を設置し、大会成功に向け努力している。



県体野球会場（総合グラウンド）

答
町長

今後町としてどのように進めるのか伺いたい。

来年4月の移管に向けて順調に進めている。

答
福祉課長

昨年9月に検討委員会設置要綱を制定し、これまで5回の委員会を開催。町内社会福祉法人6施設の民営化意向調査では譲渡を希望する回答があり、入所者家族、職員への説明会も終わっている。今後は移譲を希望される町内社会福祉法人に、募集要項の説明や書類審査及びヒヤリングを実施し、移譲先を選定し来年4月1日に施設の運営を開始する計画である。なお職員については移譲先での雇用を条件にお願いし、また地区住民への説明会も開く予定であ

質
生涯学習課長

競技選手、役員等の受け入れ体制はどうになるのか。

質
水俣市・芦北町・津奈木町で県体育準備委員会を設置し、今月の1日に総会において第66回熊本県民体育祭水俣・葦北郡大会実行委員会を設置し、大会成功に向け努力している。

質
平成23年9月に開催される県民体育祭は、水俣・葦北郡が会場であるが、芦北町での競技会場の整備はどうにするのか。

質
泊希望は約3000名であり、収容能力は町内で580名、水俣芦北地域で1400名、八代、出水市まで入れる3600名程ある。駐車場も臨時の駐車場が必要である。

老人ホーム民営化について

答
商工観光課長

大会運営専門部会において協議を行い、業者の出店もお願いしていく。観光PRは、各会場の出演者に観光パンフレットの配布を予定している。



県体バドミントン会場（スカイドーム）

一般質問

県道田浦港線の進捗状況と松ヶ崎地域の今後の計画について!!



元山議員



松ヶ崎海水浴場

利活用について
は、プロジェクト
チームをつくり意
見を取りまとめ御
立岬、鶴ヶ浜にな
い特徴をもたせた
い。海岸公園的な
施設として整備が
出来ればと考えて
いる。

消防団員の居住地及び
就業地の現状から町内
各事業所との協力体制が必要
と考えるが、「消防団協力事
業所表示制度」導入の考えは
ないか。

21年度の進捗状況は事業量
で計画690m、供用延長2
92mで、42・3%事業費ベ
ースでは全体事業費4億40
0万円である。21年度末まで
の事業費が2億2900万円
で進捗率は56・7%である。
22年度は9500万円の工事
が予定されている。

質
平成19年3月定例会一
般質問の答弁で平成23
年度完成予定との説明であつ
たが、現在の進捗状況はどう
なっているのか。

質
御立岬海水浴場ならび
に鶴ヶ浜海水浴場との
関係から特色ある運営が望ま
れるが、これまでにどのような
協議がなされたか。

質
本町の消防団員定数は
類似団体と比較してどう
か。

質
平成17年の国勢調査人口で
の割合を見ると芦北町が3・
2%で、長洲町2・6%、御
船町2・4%、山都町4・9%
%、あさぎり町が4・3%で
ある。ちなみに水俣市は1・
8%となつており本町は平均
的な定数である。

質
消防団員確保のために
どのような対策を講じ
ているか。

防災対策について

答
町
長

町内各事業所との協力体制
が必要と考えている。今後一
層事業所との連携強化、理
解、協力を得て従業員の入団
促進を図ると共に活動環境の
整備を促進する。制度導入の
については前向きに検討する。

質
「機能別消防団員制
度」は団員確保に有効
と考えるが、今後の計画はど
うに考えているか。

答
町
長

条例定数範囲内で配置を行
なつていい。昼間団員のいな
い地区で所轄の消防署より10
km以上の地区に団員の配置を
計画している。



特別団員辞令交付式

総務常任委員長報告

企画財政課
総務常任委員長報告を申し上げます。

去る9月1日本会議におきまして、当委員会に付託されました、認定第1号「平成21年度芦北町一般会計歳入歳出決算の認定について」、9月7日と8日に審査を行いました。

審査にあたりましては、予算が適正かつ効率的に執行されたか。また、事業の成果はどうであつたか。決算を見えて、次期予算編成や行政執行に生かされるよう慎重に審査をしましたので、その経過と結果を報告します。

一般会計の歳入決算総額は107億9791万円で、歳は出決算総額は103億7736万5千円となつております。自主財源は27億2389万5千円で、歳入総額に占める割合は25・2%、依存財源は80億7401万5千円で、比率は8%となり、自主財源比率は前年度より0・5ポイント増加しております。経常収支比率は89・9%で、前年度から1%改善しており、財政力指数は0・30と前年度となつております。

企画調整係においては、芦北町総合計画後期基本計画策定の実施及び生活路線の確保として路線バスの維持を図るため、バス事業者に対し補助金の交付が行われ、路線バス再編の検討のための乗降調査や実証運行等が行われております。また、芦北町の高速交通対策では、南九州西回り自動車道の全線開通に向け期成会による積極的な要望活動が行われております。

まちづくり推進係においては、国際化・国際交流事業で、韓国から自治体職員を受け入れる「自治体協力交流事業」が実施され、国際貢献事業では、カンボジアに4校目となる学校の贈呈が実施されています。

その他、芦北町まちづくり支援事業では、町内各区における住民の自主的な活動支援を目的に60区に補助金が交付されております。

佐敷地区景観形成住民協定活動支援事業では、景観形成住民協定に基づき、建物修景2件が実施されております。

大関水特産品商品化事業では、「大関山湧水・真っ清水」の委託製造・販売が3年目となり、町内、熊本市内及び都心等のホテル、物産館での販売が引き続き行われております。

また、各種団体等が取り組む地域づくりを支援する「ふるさとづくり基金運用事業」や、コミュニティ活動の促進

負担比率は2ポイントの減、実質収支比率は0・5ポイントの減となり、全体的に好転となつております。

主な質疑として、ふれあい

ります。

元山委員長



税務課

まず、平成21年度の町税収納状況は、現年課税分調定額14億9901万5267円に対し、収納額14億7756万2698円で、98・57%の徴収率となつております。

また、滞納繰越分は、調定額9833万6594円に対し、

14億23万9761円で、14・48%の徴収率となつております。

調定額と収納額減の主要因としては、個人町民税で、企業業績の悪化等による所得の減少及びリストラ等による失業者の増加による所得の減少によるものです。また、法

人町民税において、一昨年秋口以降の急激な経済不況等により輸出関連企業を中心とした減収益がみられ、本町に大



企画財政課
その他の世界農林業センサス等の統計調査と地上デジタル放送化に向け町内の自主共聴組合13地区(236世帯)に対しても、補助がなされてお

ります。

行政改革推進係においては、「芦北町集中改革プラン」の実現のために、実施計画書に基づく進行管理が行われ12件の改革事項の実行がなされました。

まちづくり推進係においては、国際化・国際交流事業で、韓国から自治体職員を受け入れる「自治体協力交流事業」が実施され、国際貢献事業では、カンボジアに4校目となる学校の贈呈が実施されています。

財政係においては、経常費の削減を図るため、経債の繰上償還の実施及び漁港整備や排水施設整備などの大型事業に過疎対策事業債や合併特例債等の有利な起債を財源として活用されておりま

す。

なお、財政指標は前年度と比べ、経常収支比率は1ポイント改善、実質公債費比率は1・2ポイントの減、公債費

2件が実施されております。

佐敷地区景観形成住民協定活動支援事業では、景観形成住民協定に基づき、建物修景2件が実施されております。

大関水特産品商品化事業では、「大関山湧水・真っ清水」の委託製造・販売が3年目となり、町内、熊本市内及び都心等のホテル、物産館での販売が引き続き行われております。

また、各種団体等が取り組む地域づくりを支援する「ふるさとづくり基金運用事業」や、コミュニティ活動の促進



カンボジアに4校目の学校を贈呈

ます。

調定額と収納額減の主要因としては、個人町民税で、企業業績の悪化等による所得の減少及びリストラ等による失業者の増加による所得の減少によるものです。また、法

人町民税において、一昨年秋口以降の急激な経済不況等により輸出関連企業を中心とした減収益がみられ、本町に大

においては、株テラプローブ及び東海カーボン(株)が特に大きな影響を受け大幅な減少となりました。

地籍調査事業につきましては、登記が完了した地区の地籍調査事業の成果が、公共事業の計画、用地買収、土地に関する諸行政の基礎資料及び土地取引の円滑化、境界トラブルの防止など多方面に活用されております。

主な質疑として、徴収の取組みについての質疑に対し、滞納者に対し督促状発送、催告状発送、納税相談等を実施し、金融機関の預貯金残高調査及び生命保険会社の契約状況調査を行い、預貯金や解約金などの差し押さえや、個別訪問等を行つているとの答弁がありました。

職員7人体制により、広範囲にわたる業務を、本庁関係課と連携を密にして迅速かつ適正な事務処理が行われ、住民への利便性の向上に努められております。また、庁舎、公用車の維持管理についても良好で適正に行われております。

主な質疑として、年間延人数で何人位の利用者があるかとの質疑があり、窓口に約1万人の利用者があるとの答弁がありました。

男女共同参画計画の推進については、芦北町男女共同参画計画に基づき、各種研修会の参加及び講演会の開催を行うなど、啓発活動が行われております。

定額給付金については、国の景気対策として、平成21年の2月1日現在で本町の住民基本台帳に記録されている方に給付が行われました。給付実

総務課

議会事務局

議会活動の活性化を図るために、視察研修が実施されたほか、会議録の配布や議会だよりの発行により、開かれた議会運営がなされています。また、平成22年3月に町議会議員の改選が行われ定数が22人から16人に削減があつております。

防災対策の強化について、火水槽1基の新設や小型動力ポンプ付積載車3台が更新され、消防施設整備の充実に努められております。防災意識の高揚を図るため、防災行政無線を使用して各種災害等に関する情報を随



田浦基幹支所には年間1万人の利用者



更新された小型動力ポンプ付積載車

時発信し、災害時における緊急連絡体制の充実に努められています。また、行政からのお知らせやお悔やみ情報など必要な情報発信がなされておりま

す。人事管理については、19年度から試行導入された人事評価制度が3年目となり、評価会や前期後期についての評価が実施されております。職員研修については、多様化する住民ニーズに的確に対応するため、自治大学、熊本県派遣研修をはじめ新人職員研修等を行うとともに、職員の政策能力の向上と意識改革を目的に全国市町村国際文化研修所研修が取り入れられます。地区座談会については要望のあつた地区で、区長会は年3回開催され、町からの連絡や各区からの要望意見等について集約・対処がなされ、行政運営の充実が図られています。

主な質疑としては、職員の時間外勤務について、健康上の問題等もあり、改善の余地がないかとの質疑があり、職員のうちに時間外勤務が多くなっている部署があるので、実態を把握した上で、健康管理に配慮しながらできる事から改善するとの答弁があります。

選挙費については、衆議院議員総選挙及び芦北町議会議員一般選挙が実施されます。電子計算費については、老人化により総合行政システム及び情報系システムサーバの入れ替えが行われております。

広報関係については、広報紙・まちだよりを発行し、行政施策の周知、町内ニュース及び諸行事の連絡を行い、さらには芦北町公式ホームページで、行政施策の詳細やイベント開催情報など町内外に広くあります。

財産管理費については、利

用計画のない町有地や国から譲り受けた里道水路の払い下げが行われ、また旧ヤングサンシ一跡地の建物を解体し財産の有効活用に努められております。

主な質疑として、職員の時間外勤務について、健康上の問題等もあり、改善の余地がないかとの質疑があり、職員のうちに時間外勤務が多くなっている部署があるので、実態を把握した上で、健康管理に配慮しながらできる事から改善するとの答弁があります。

主な質疑として、職員の時間外勤務について、健康上の問題等もあり、改善の余地がないかとの質疑があり、職員のうちに時間外勤務が多くなっている部署があるので、実態を把握した上で、健康管理に配慮しながらできる事から改善するとの答弁があります。

建設経済常任委員長報告

建設経済常任委員長報告を申し上げます。

9月1日の本会議において、当委員会に付託されました認定第1号及び認定第5号、第6号、第7号、第8号並びに第11号を担当課出席のもと、現地調査も含めて9月6日、8日の2日間にわたり、慎重に審査を行いましたので、その経過と結果をご報告いたします。

完成した小田浦地区強制排水施設
建設課



農林水産課

農業委員会では、昨年農地法の改正があり、農地の転用



芦北町有害鳥獣防止等対策事業

防災・災害対策事業では、浸水被害の解消に向け、小田浦地区で強制排水ポンプ設置工事を実施し、その他3地に伴う測量設計及び排水路改修工事を実施しました。

交通ネットワークの整備では、道路改良事業を17路線、橋梁新設工事が1件施工され、交通安全施設設置事業等が44路線施工されました。

排水路整備事業では、都市計画区域外3箇所の家庭排水路整備に補助を行つております。

主な質疑を申し上げますと、住宅使用料の滞納に対してこれまでの徴収状況と今後の対応についてはとの質疑に対し、戸別訪問を隨時行つており、これまでには口頭約束が多くつたが、現在は分納の誓約書をとつて徴収率向上に努めているとの説明がありました。

農地の流動化は、新規が108件の36万9433平方メートル、再設定が33件の10万1529平方メートルであります。農業者年金について、農業者年金受給者総数は392人となつております。

主な質疑を申し上げますと、耕作放棄地に対するどの質疑に対し、草や雑木で原野

化しているところは、所有者の意向をふまえ農地法に基づく申請92件及び農地形状変更届10件を処理しました。農業経営基盤強化促進事業による農地の流動化は、新規が108件の36万9433平方メートル、再設定が33件の10万1529平方メートルであります。農業者年金について、農業者年金受給者総数は392人となつております。

農業振興費の水田農業経営確立対策では、生産調整目標数量2596トンに対して2469トンの実績で目標を達成しました。果樹振興対策では、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業などにより、デコボンハウス施設の設置や優良苗木への改植、柿

「太秋」の産地化を目指すための苗木新植及び防風防鳥ネット設置事業等を実施しております。

畜産振興対策では、あしきた牛のブランド化を促進するためのあしきた産子牛や繁殖牛の購入費助成や畜産ヘルパーサービス等を実施し畜産経営の安定化を図っております。

その他、鳥獣被害対策として防護柵の設置や被害防止対策協議会を立ち上げ、被害防止に取り組む体制を強化しまし

や賃借等の規制が見直され、新たな事務が追加されています。

毎月1回開催される農業委員会総会では、農地法に基づく申請92件及び農地形状変更届10件を処理しました。農業

経営基盤強化促進事業による農地の流動化は、新規が108件の36万9433平方メートル、再設定が33件の10万1529平方メートルであります。農業者年金について、農業者年金受給者総数は392人となつております。

農業振興費の水田農業経営確立対策では、生産調整目標数量2596トンに対して2469トンの実績で目標を達成しました。果樹振興対策では、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業などにより、デコボンハウス施設の設置や優良苗木への改植、柿

「太秋」の産地化を目指すための苗木新植及び防風防鳥ネット設置事業等を実施しております。

畜産振興対策では、あしきた牛のブランド化を促進するためのあしきた産子牛や繁殖牛の購入費助成や畜産ヘルパーサービス等を実施し畜産経営の安定化を図っております。

その他、鳥獣被害対策として防護柵の設置や被害防止対策協議会を立ち上げ、被害防止に取り組む体制を強化しまし

水産業費では、漁獲量の減少を改善するためにクルマエビ、ヒラメ、ガザミ及びアユ稚魚等の放流事業を実施したほか、漁船保険料の一部助成、町内中学生によるうたせ船の体験学習及び漁船エンジンのオーバーホール支援等を行つております。

また、漁港整備事業では、昨年度に引き続き海浦漁港設備を実施し、平成21年度をもつて事業完了しております。

主な質疑を申し上げますと、新規就農者は減少傾向にあると思われるが町として何か対策はないかとの質疑に対し、農業経営が安定している農家には若い後継者がいるが、毎年就農者は数名であり、今後は定年者やUターン者等への支援・対策を行つてみたいとの説明がありまし



草野委員長

林業費では、昨年度に引き続き、林業、木材産業の活性化と定住促進を目的に、町産材を使用した木造住宅建設に対し支援を行いました。また、国の経済対策交付金事業を活用して条件不利地の森林を対象に、作業路の開設及び間伐に対する助成を行い、森林整備を推進しております。さらに、林道舗装をするための原材料支給や町管理林道の改修工事等を行つております。

林業費では、昨年度に引き続き、林業、木材産業の活性化と定住促進を目的に、町産材を使用した木造住宅建設に対し支援を行いました。また、国の経済対策交付金事業を活用して条件不利地の森林を対象に、作業路の開設及び間伐に対する助成を行い、森林整備を推進しております。さらに、林道舗装をするための原材料支給や町管理林道の改修工事等を行つております。



町内中学生のうたせ船体験学習

商工観光課

商工業の育成と振興につきましては、中小企業に対する融資の利子補給及び保証料補給を行うとともに、芦北町商工会の事業に対し補助金を交付しております。

町有温泉事業特別会計

各施設の入浴者数は、前年度と比較して合計で2・9パーセント増加しております。

企業誘致対策では、誘致活動の一環として芦北町企業誘致パンフレットを作成し、700社余りの企業にアンケート調査を行い、企業訪問などを実施し積極的に誘致活動を行っております。

労政対策では、失業者を対象に、緊急雇用創出基金事業を活用し、35名の臨時職員を採用し、ふるさと雇用再生特別基金事業では、町内の雇用再生再生のために、芦北漁協等に3名を雇用しております。

簡易水道事業特別会計

浄化槽設置費助成事業では、72基の浄化槽設置に対して助成を行っております。

上下水道課

以上、当委員会に付託されました認定第1号「平成21年度芦北町一般会計歳入歳出決算の認定について」及び認定

営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は4362万9千円で、さらに営業外収支を差し引いた経常利益は347万1千円となつております。また、当年度純利益と前年度からの繰越利益剰余金を合わせた当年度未処分利益剰余金は3527万1千円であります。

本件は、湯浦南行政区長、宮本東洋男氏ほかから提出されたものですが、湯浦小学校児童の通学路となつている生

水道事業会計

本年度から一般会計の浄化槽設置費助成事業に一元化することで、本会計は維持管理のみ行つており、点検回数削減と使用料改定を実施した結果、経費負担の公平性と事業の健全経営を図ることができます。

陳情書

第5号「平成21年度芦北町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について」、認定第7号「平成21年度芦北町生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について」、認定第8号「平成21年度芦北町有温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について」並びに認定第11号「平成21年度芦北町水道事業会計決算認定について」は審査の結果、全会一致で認定すべきものと決しました。



陳情された橋本川左岸道路(湯浦)

川宣昭氏ほかから提出された木松生線及び庵の山線未改良区間の早期の整備についてを申し上げます。本件は、塩浸行政区長、宮本東洋男氏ほかから提出されたものですが、先般の豪雨により県道が通行止めとなり、地域住民が両町道を迂回路として利用してきましたが、道幅が狭く通行に支障を来たしているため、町道の改良を要望するものです。

審査では、普段の利用は少ないと思われるが緊急時には重要な路線であり、将来を見据えると整備すべきとの判断で、陳情第7号につきましては、全会一致で採択すべきものと決しました。

一致し、陳情第6号につきましても、全会一致で採択すべきものと決しました。

文教厚生常任委員長報告

文教厚生常任委員長報告を申し上げます。

本定例会初日（9月1日）に当委員会に付託されました認定第1号「平成21年度芦北町一般会計歳入歳出決算認定」と認定第2号「平成21年度芦北町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定」他特別会計の決算について、全員出席のもと、9月6日と9月7日に審査を行いました。

執行部の説明は、成果説明書を基に資料によつて詳細に説明を受けました。審査に当たつては、予算が適正に効率的に執行されたかに着目し、慎重に審査しましたので、その結果を報告致します。

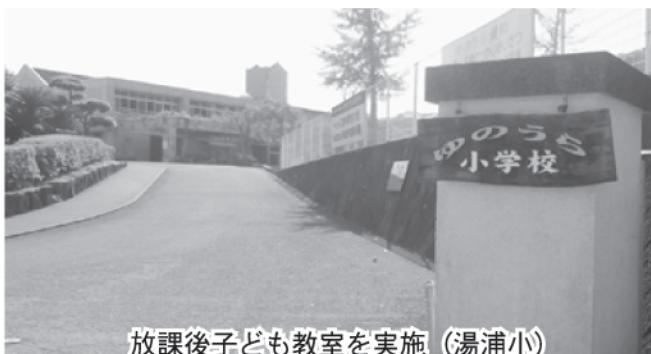
芦北町総合計画で、施策の大綱として掲げてある「魅力的な地域づくり」及び「豊かな心の人づくり」を基本として生涯学習、文化振興、スポーツ振興事業の推進に向け、個性の光る魅力的な事業を計

画的に実施し、総合的な振興が図られています。

主な質疑として、予算執行状況の中、「観月会のチケット販売代金の執行率は64パーセント余りであるが」という質疑に対し「当年度は雨の為に販売率が低くなつた」という答弁がありました。委員会としては、安価で沢山の方々に文化に触れて頂く良い機会であり、啓発についても、もっと検討して欲しいということを要望を申し上げておきました。

温泉プールの利用状況についての質疑には、前年度比1200人余りの減ということです、委員からは、競技力の向上だけでなく、健康づくりのための利用等も十分考慮されるようという意見がありました。

また、学校支援地域本部事業は、2年目の事業で田浦小学校に支援地域本部を設置活動を開催されております



放課後子ども教室を実施（湯浦小）

が、併せて湯浦小学校で実施されている「放課後子ども教室」についての質疑には、コーディネーターが計画を立てて、毎週火曜日と木曜日の午後3時から午後5時15分まで、学校から地域の方を講師に依頼して、宿題をしたり、伝承遊びを教えたりして地域住民とのふれあいもあり、誠に良い事業であると感じました。

まず一般会計の施策の大綱「ひとにやさしい快適なまちづくり」では、保健衛生対策として、母子保健事業を始め予防接種事業、健康増進事業、献血事業等、町民一人ひとりの願いでもあります「心身ともに健康で明るい生活を送る」ための事業を保健センターを拠点に展開されております。又、環境対策として、不法投棄対策、ごみ処理支援対策、狂犬病予防事業及び水俣病関係事業と清掃センターでは徹底した分別収集による資源ごみのリサイクルの推進とごみの減量化等に取り組ま

住民生活課



白坂委員長

妊婦検診の受診回数については、予定日を待たずに出産した人を除けば、ほとんどが受診しているとの答弁でした。

環境対策関係の質疑で、住民からの140件の苦情がついているが、その内容については、不法投棄と野犬の捕獲が大半で、他に家庭でのごみ焼却や死魚の通報もあつたとの答弁がありました。

また、水俣病相談窓口関係の2886件の相談では、相談者に対して丁寧な説明をしてほしいとの要望を申し上げました。

国民健康保険事業特別会計

【事業勘定】

少子高齢化や低所得者層の増加、疾病構造の変化や医療技術の高度化に伴い、国保財政は厳しさを増している中で、被保険者の健康管理と疾患の早期発見、早期治療を目指した国保人間ドックの助成事業や啓発活動を行い、運営の健全化に努められております。歳出決算額は31億9548万4853円で、前年比0・9パーセントの増となつております。

【直診勘定】

吉尾地域のへき地診療施設としての役割を認識し、地域

医療の確保に努力されていま
す。診療日数が週3日体制と
なつことで、外来患者数は

減つたものの診療所周辺の受診率は高く、その役割は十分果たされています。

医師の研修についても質疑があり、熊本大学医学部付属病院と県及びへき地医療支援機構と連携し、週に2日間（火曜日と木曜日）は、派遣して頂き、土曜日については、地元医師で対応しているとの答弁でした。



べき地診療施設（吉尾診療所）

老人保健事業特別会計

高齢者の健康を守り適切な医療の確保を目的として実施されました。歳出決算額は1820万8060円で前年比95・1パーセントの減となりました。

教育課

平成20年度から老人保健医療制度に代わる新しい制度として創設されており、内容についてもまちだより、パンフレット等の配布で町民へ周知しております。歳出決算額は、2億2947万8750円で、前年比1・5パーセントの増となつております。

後期高齢者医療事業 特別会計

講会に委託し、高齢者の転倒骨折及び閉じこもりの予防等、介護サービスに努められております。歳出決算額は、18億2070万2307円で前年比0・8パーセントの減となっております。

地域包括支援センターを中心
に予防重視施策を踏まえた

介護保険事業特別会計

社会に貢献できる人材の育成を図ることを目標に掲げ、諸々の事業を実施されています。

主な質疑は、研究指定校と「いじめ」や「不登校」について、執行部からは、「心の教育」の指定と「学力充実」の指定をしており、心の教育相談員を3名、スクールカウンセラー1名を配置して対応した結果、毎月報告があり、相談の実績もあつたという答弁でした。

また、スクールバスの業務
委託料が3300万円余りで
あり、業者委託していること
で、車検等も業者任せになる
ことから、できるならば地元
で対応できるようご検討願
いたい旨の要望を申し上げま

奨学資金貸付事業特別会計

福祉課

どの意見もありました、また
収入未済額についての質疑に
対し、徵収努力をしたいとい
う答弁でした。

少子高齢化が進展するなか、社会福祉、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉と保育所及び老人ホームにかかる決算については、96・5パーセントの執行率となつております。主な質疑は、老人ホームの民間委託について、芦北町老人ホーム民営化検討委員会の回数と構成メンバーについてを設置して、具体的に検討を進めておられるなかで、会議の実態を把握するための回数と構成メンバーについてお尋ねです。

4つの特別会計の決算認定については、予算決議の趣旨と目的にしたがつて適正な事業が実施されたものと判断し、全会一致をもつて認定すべきものと決しました。以上で、文教厚生常任委員長報告を終わります。

委員からは、外部からも組織の中にいれて、民意を反映させるべきではないかという意見もありましたが、利害関係も絡んでくるので非常に難しいという答弁でした。

保育所について、待機児童はいないかという質疑には、私立保育園の入所状況は、110パーセント、公立保育所は80パーセントで、待機児童は



町立湯浦保育所

総務常任委員会の所管事務調査



○ 議会のうごき ○

- 8月18日 町村議会正副議長研修会
 27日 全員協議会
 9月1日 議会定例会（議案審議）
 3日 " (一般質問)
 6日 建設経済・文教厚生常任委員会
 7日 総務・文教厚生常任委員会
 8日 総務・建設経済常任委員会
 15日 議会定例会（最終日）
 " 広報特別委員会
 24日 総務常任委員会
 10月4日 広報特別委員会
 18日 水俣芦北広域行政事務組合議会定例会
 " 広報特別委員会
 27日 議員視察研修
 （～29日 静岡・東京方面）

更に9月24日には、その結果を踏まえて委員会を開催し、担当課より詳細な説明を受けた。町としては、今後三路線（古石線・大野線・長崎線）の実現に向けて説明会等開催するとのことであった。

田浦地区については、今後検討する旨の答弁があった。

閉会中の所管事務調査の中で9月7日に「ふれあいツクールバス」に委員が二班に分かれて、住民と一緒に混乗体験し、その運行状況について調査した。

傍聴においてください。



次回は、12月中旬の予定です。
 傍聴は、ルールさえ守っていただければ誰でもできます。



9月定例会は傍聴者が延25名でした

議会広報特別委員会

	委員長	副委員長	委員
" " "	宮内道則	平松洋一	成美洋一
林田元山	宮尾川尻	林田元山	宮尾川尻
燐宏秀志	秀行成美	燐宏秀志	秀行成美

議会広報特別委員会
 であります。（川尻）

芦北町議会では、定例会一般質問に於ける傍聴者が増えております。議会が積極的な情報公開を行う為にも議会だよりに工夫をこらし、単なる議案審議の結果にとどまる必要と考えます。町民の皆様に読まれる広報紙として、また、期待される議会・議員でありたい。

本年、4月より新メンバーで議会だよりの発行に取組み3回目、第23号（9月議会）の編集に当りました。

今、地方主権の確立が進められ、地方議会の役割と責任が強く求められており議会の活性化策に取組む市町村議会が多く見られます。



編集後記